

JD共済

No.63

発行日 2019年8月29日

〒939-8072 富山県富山市堀川町278
ジェイ・ディ共済協同組合

TEL.076-421-2221 (大代表)
FAX.076-425-9561
URL <https://jd-kyosai.com>
E-mail info@jd-kyosai.com

第17回
通常

総代会開催

理念を貫徹し、
健全経営を堅持

6月23日(日)に、ジェイ・ディ共済協同組合の第17回通常総代会が品川プリンスホテル(東京)において開催され、各都道府県の総代の皆様が出席し、肅々と執り行われました。

冒頭、丹澤忠義理事長より、来賓としてお迎えした損害保険ジャパン日本興亜株式会社 執行役員 北陸本部長 甲信越本部長 高岸弘佳様と、株式会社エフエム大阪 常務取締役 西山勝様の御二方に対して、深い感謝の言葉が述べられました。また、来賓としてお招きしていた自由民主党 参議院議員 内閣官房副長官 野上浩太郎様が急なご公務によりご臨席いただけなくなったことと、野上様からメッセージを頂戴したことが伝えられました。

続いて、野上内閣官房副長官からいただいたメッセージが披露された後、来賓の高岸様と西山様から、組合員にとって大変有り難いご挨拶を頂戴しました(P.3参照)。

その後、丹澤理事長から、「本組合の歩みと運営状況」そして「運転代行業界の現状と動向」などの話に移りました。以下、その概要をお伝えします。

■JD共済の理念と歩み

今回の総代のうち30名は初めて選ばれた方で、今日はその大半の方が出席されています。これから2年間、総代として組合運営に携わっていただくにあたって、まず、JD共済の理念と成り立ちについて理解しておいてもらいたいので少し話をします。

今から25年以上も前のことになりますが、私は、建設業など様々な事業を経営していました。しかし、当時身内が営んでいた運転代行業のことを深く知るうちに、この運転代行業こそが、これからの社会にとって必要不可欠な業態として、大きく成長していくと確信するに至りました。時を同じくして、多くの運転代行業者から「代行業者のための共済を作ってほしい」と何度も懇願され、考えに考え抜いた末に、自分が経営していた事業を全部整理し、全てを賭ける決断をして、1997年に全国の運転代行業者による任意団体としてジェイ・ディ共済組合を設立しました。そして、2002年には警察庁と国土交通省から、運転代行の共済団体として第一番の認可をいただき、ジェイ・ディ共済協同組合をスタートさせました。

その後、設立当初から掲げていた「組合員のための共済事業を目指し、手頃な掛金で大きな補償を提供する」という理念と姿勢に、全国の数多くの運転代行業者の方々共感してくださり、そして、「親切・丁寧・適正・迅速なサービス」を徹底して提供し続けてきたことで、多くの信頼をいただき、今では、おかげさまで加入組合員数4,500社を超える組織になりました。この22年間、本当にいろんな紆余曲折があり、決して平坦な道のりではありませんでしたが、幾多の苦難を乗り越えるたびに組織力を高めてきたことで、「今のJD共済」がある



ということは、心にとめておいてください。

■運転代行業界の現状と動向

一方、代行業界について見てみると、運転代行業法が施行されてから17年経ちましたが、業界の健全化と適正化は思うように進んでい